場合の数 まとめ

ならべ方と組み合わせのちがい。

ならべ方（順番を考える）

4人のならび方：4 × 3 × 2 × 1 ＝ 24通り。代表と副代表のように役わりがちがうときも、順番を考えます（5人なら 5 × 4 ＝ 20通り）。

組み合わせ（順番を考えない）

A・BとB・Aを同じと考えるときは組み合わせです。5人から2人：5 × 4 ÷ 2 ＝ 10通り。表に◯をつけて数えることもできます。

0のカード

0を使って整数をつくるときは、いちばん上の位に0をおけないことに注意します。